



「ご支援、ご協力ありがとうございました」

校長 二神 博

昨年4月、全校児童524名でスタートした令和6年度もゴール目前です。今年度は、年度途中の転出入があったため、卒業式と修了式は523名で迎えます。子どもたちが無事に年度末を迎えようとしていることには大きな喜びとともに深い安堵を覚えます。

さて、先日校内で「6年生を笑顔で送ろうパーティー」を行いました。全校児童が体育館に集い、在校生からは心のこもったメッセージや出し物、プレゼントが6年生に送られました。その際、私から子どもたちに「一期一会」の話をしました。今日の出会いは一生に一度きり、だからこそ大切にしたい。そんな意識が普段の私たちにあるでしょうか。毎日の生活を繰り返すうちに、身の回りの当たり前には無意識になりがちです。入学すれば、いつか卒業する。人と出会えば、いつか別れがやってくる。実に当たり前のことですが、特に意識せず過ごしていると、毎日接している人に対しても、出会えたことへの価値などが薄れてしまいます。そう考えると「6年生を笑顔で送ろうパーティー」は6年生にとっても在校生にとっても、出会いの価値を見つめ直すよい機会になったと思います。

私自身、本校に赴任したことで524名の子どもたちや教職員に出会うことができました。また、保護者の皆様をはじめ、PTA、おやじの会、地域の方々と出会い、多くのご支援とご協力をいただくことができました。一つ一つの出会いに改めて感謝するとともに、今後も地域に根ざした教育の推進に努めてまいります。1年間、本当にありがとうございました。



6年生を 笑顔で送ろうパーティー



<p>5年生のげきのアンパンマンがとってもおもしろかったです。先生たちの出し物の「ひまわり」のがっそうが、むずかしそうでびっくりしました。じぶんのせりふを大きいこえではっぴょうできて、うれしかったです。</p> <p>1年</p>	<p>楽しくて、おもしろい会になって、よかったなと思いました。私たち2年生は、6年生とたいけつをしました。わたしは、せりふを言いました。きんちょうしたけど、楽しかったです。6年生に思いがとどいていたらいいなと思います。</p> <p>2年</p>	<p>ぼくが心にのこったことは、先生たちの発表と6年生の歌です。ぼくはきいていて泣いてしまったけど、歌がとても上手で、たくさん練習したのだなと思いました。6年生がいなくなるのはさみしいけど、これからもがんばりたいです。</p> <p>3年</p>
<p>ぼくは、4年生の出し物のクイズで、6年生にインタビューをしました。6年生が指で表していた数字が正解していたので、すごいなあと思いました。来年、5年生になったら、今年の5年生のように、おもしろいげきでみんなを笑わせたいです。</p> <p>4年</p>	<p>自分たちの劇の出し物は、どきどきしたけど、6年生が笑ってくれてよかったです。他の出し物でも、6年生に楽しんでもらえたと思います。最高の集会ができたと思います。今までありがとうございました。中学校に行っても、楽しく過ごしてほしいです。</p> <p>5年</p>	<p>6年生を送る会で、私はとても温かい気持ちになりました。5年生の劇もすごくおもしろかったし、他の学年からのプレゼントや出し物、先生方からの歌も、すべてうれしかったです。中学校でも小学校で学んだことを生かして、がんばります。</p> <p>6年</p>